

スポパーク松森フットサルジュニア大会ルール (2024年3月～適用)

○キックオフ

キックオフ時自陣にボールを戻しても良い。またキックオフシュートも可能となる。

○キックイン

キックインを行う際、ボールは必ずライン上に静止してからスタートすること。その代わり軸足がコートの中に入っても良い。

キックインからの直接ゴールはなし。もし入った場合は、キーパーからのクリアランスとなる。

○スライディングタックル ※重要なルールなのでチーム内で必ず共有してください

怪我の恐れがあるので、人の近くでのスライディングタックルは禁止とする。

スライディングタックルを行った場合、警告(イエローカードまたはレッドカード)の対象となる。パスコース、シュートコースへのスライディングのみ可。

GKに限り自陣ペナルティエリア内でセービングへの正当なスライディングであれば認められる。

○2ファールルール(試合中のチームファールについて)

3回目のファールから相手チームに第2PKが与えられる。尚、前半でのファールは後半へは持ち越されない。

○選手交代

選手交代は試合中、交代ゾーンから自由に交代できる。

コート内にいる選手が完全にコートから出ないと交代選手はコートに入れない。違反した場合は、イエローカードの対象となる。

GKの交代も同様とする。

○キーパークリアランス

味方選手はペナルティーエリア内でボールを受けることが出来る。(相手選手はペナルティーエリア内に入ることはできない。)

キーパーが投げた・蹴ったボールがノーバウンドでハーフラインを超えた場合、ハーフラインからの相手ボールの間接フリーキックとなる。

○ゴールキーパーへのバックパス

味方選手が出したパスをゴールキーパーが手でキャッチした場合、バックパスとなる。(意図的でないクリアボールは除く)

また、ゴールクリアランスやインプレー中に関わらず、ゴールキーパーから出されたボールが相手選手に触れていないければ、自陣内でゴールキーパーへパスは出来ない。

ゴールキーパー自身がハーフラインを越えていれば、パスを受けることができる。もし、ゴールキーパーがボールに触れた場合は、相手チームの間接フリーキックが与えられる。

ゴールキーパーが触れた地点がペナルティーエリア内であれば、触れた地点から最も近いペナルティーライン上からの相手チームの間接フリーキックとなる。

○フリーキックの壁

守備側選手が2名以上壁に入る場合、攻撃側チームの選手は壁から1m以上離れなければならない。

○4秒ルール

直接・間接フリーキック、キックイン、コーナーキック及びゴールクリアランスは、4秒以内に行わなければならない。4秒を越えると相手チームのキックインまたは間接フリーキックが与えられる。

○5mルール

キックイン・フリーキック・コーナーキックの際、相手守備側選手は、ボールから5m離れなければならない。